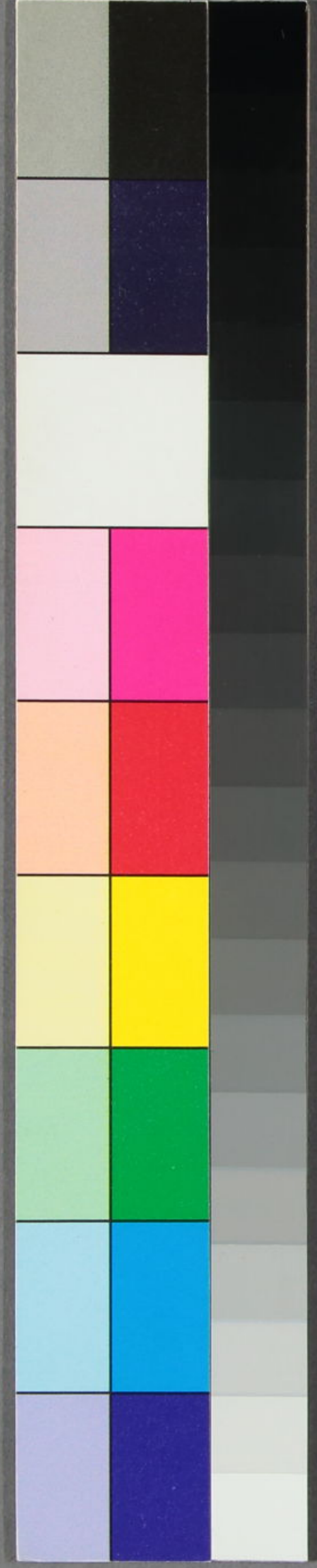
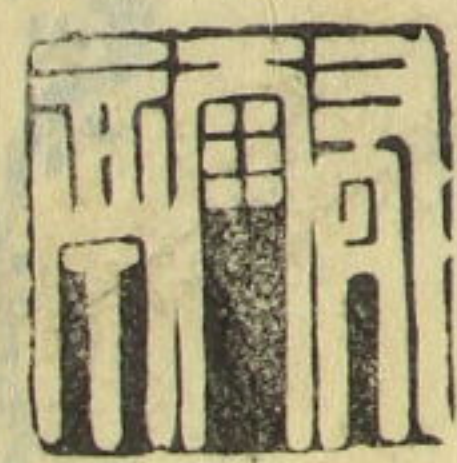




紅花

映白華





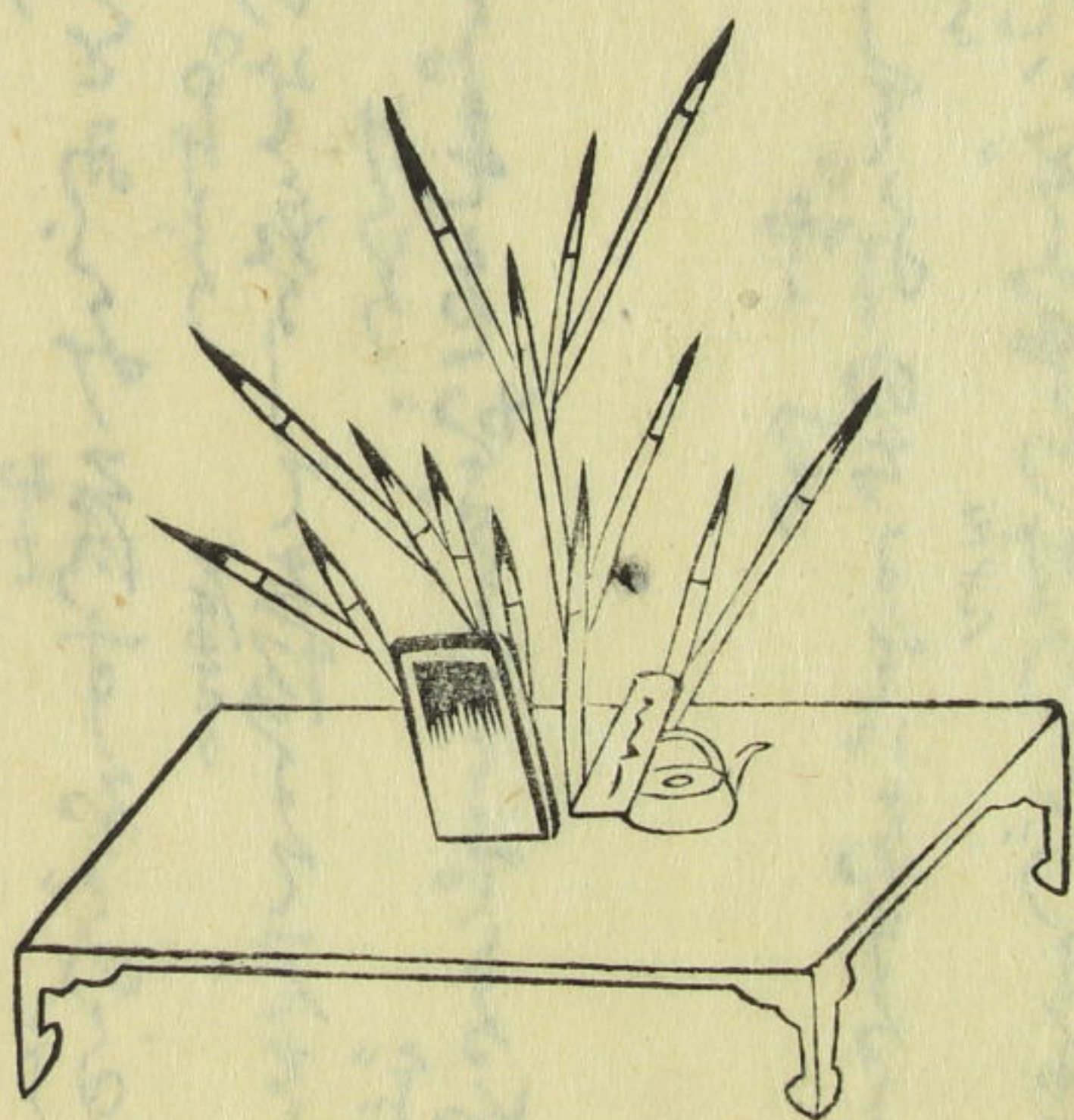
續百十一

まのり

すまはぐきまきこふちをみみすやまのりこ
 三々村の全居といふまのりまきこ
 いうるまのりまきこ。もろまきこまきこまきこ

まのりのま

さうち夜のちよおまきこ。おのちよまきこまきこ。
 一。時らいまきこまきこまきこまきこまきこ。
 実いやりまきこまきこまきこまきこ。又越まのりまきこ
 なり



三

ふぶくも。いふれを^そる。そち^らも。とも^こみ^{きん}ふ^ん今

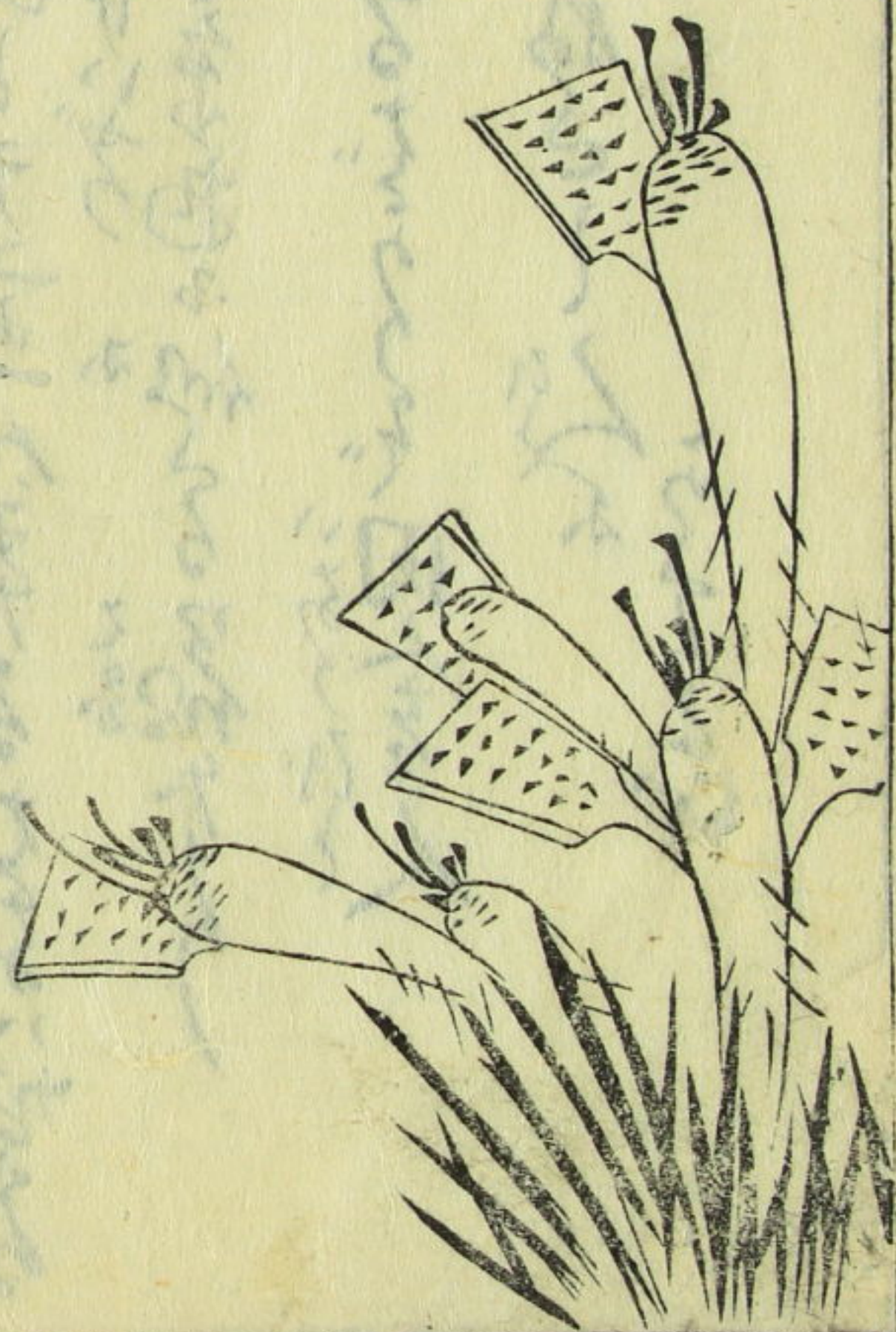
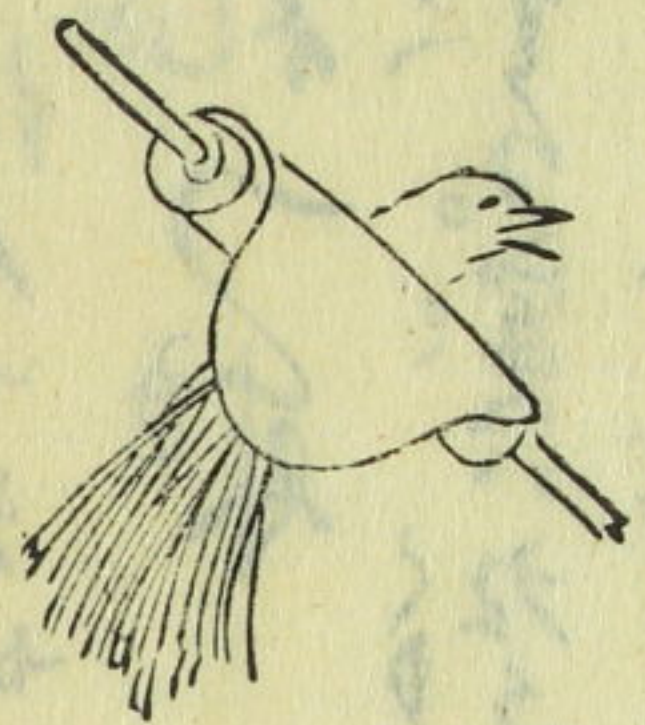
高月花

花は三代葉あるより。葉とすん
葉とりふけ花実をどうて明ゆり時ハ。つけき
そのぬのにもわらわも目見えぬ鬼神とあらざらん。
男女のさうき中々もむつまじくすると云ふ
枝さくらさくらさくら



ふてま

我々もよく。まあね、おれも用や。実ハ、ちき屋あたる。
飛石、うゑ、あつち、又、あつち、うゑ、ハ、あつちとす。

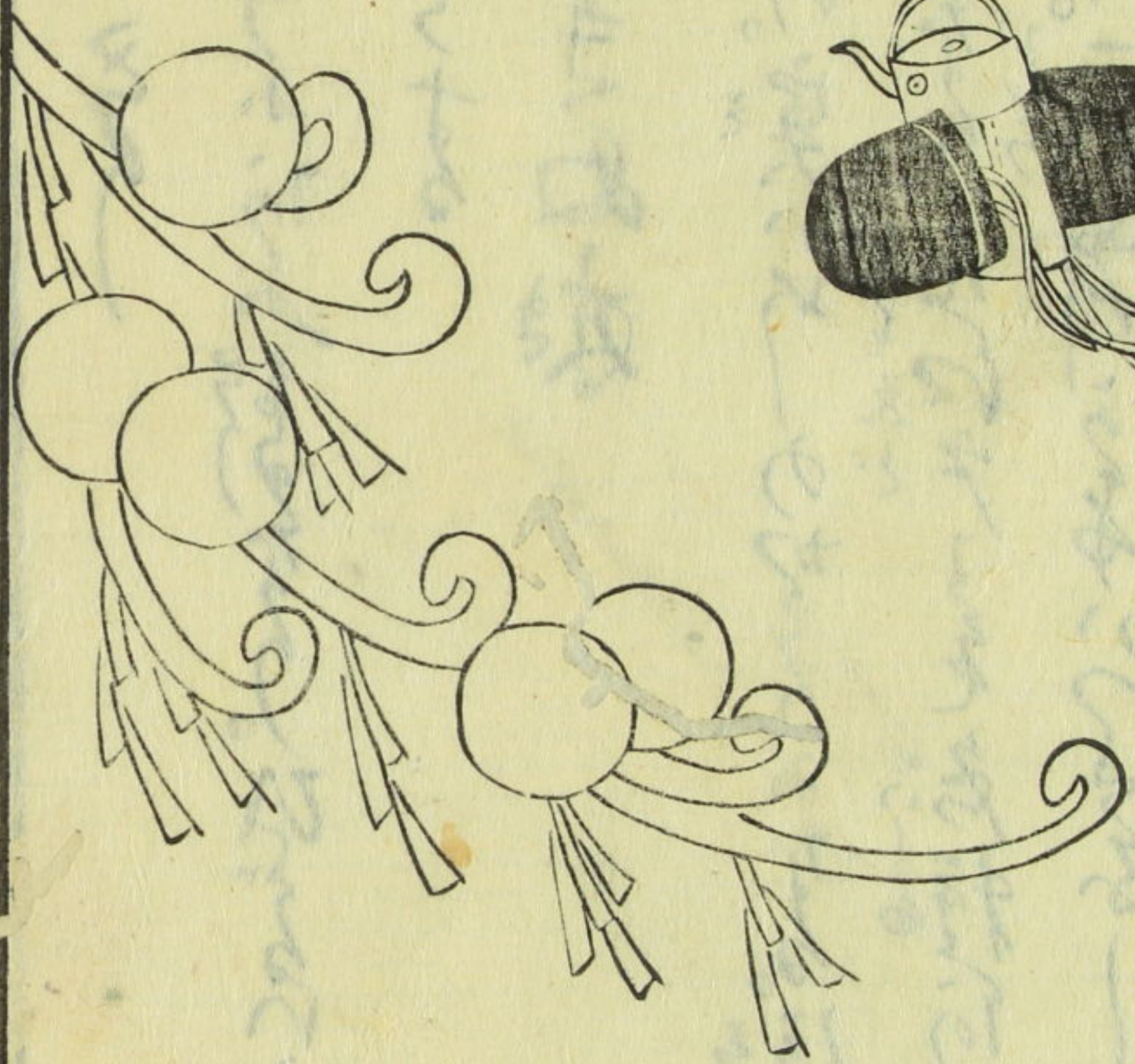
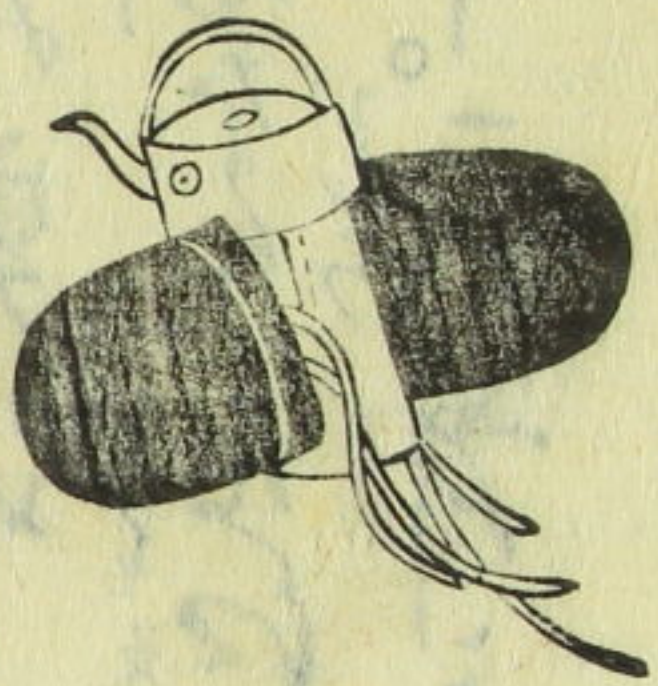


おほ
大さ

目^めま^まり^りら^らふ^ふら^らみ^みな^なら^ら。ひ^ひが^がい^いと^とな^なく^く。け^けさ^さ
お^お門^{かど}ふ^ふね^ねぐ^ぐら^らす^する

ひきぬき

花^{はな}は^はか^から^らみ^み。実^みは^はい^いり^りの^のか^から^らふ^ふな^なる^る。信^{しん}は^はふ^ふら^らも^もち^ちる^る
そ^その^のい^いふ^ふな^なら^らう^う。い^いふ^ふな^なら^らう^う。い^いふ^ふな^なら^らう^う。い^いふ^ふな^なら^らう^う。
う^うが^がさ^さ。ニ^にハ^ハが^がら^らう^うも^もい^いつ^つさ^さ。



さいじん

ふいふと^あ写^けく。もを^けわ^いー^ろ。^から^ちに^ろろ^ろく^ろ。^しち^ちろ^ろー

よくおみきとのまご^{さい}ら^らい^いふ^ふわ^わる。め^めで^でさ^ささ^さる

みづるふ

花とあひあつとつゝ。実とを飯とつゝ。さうあつと
日とあつとつゝ。ふ降つとつゝ。

ある人の心

餅もち食くふふのむむねねははままるるふふ

流^{りゅう} 炭^{たん} 烟^{えん} が 若^わ 妻^{さい} 徳^{とく} いふ。
氣^き 云^い ハ 志^し み づる と ずし。
甘^{かん} ぬ ハ 短^{みだ} う 記^き と 是^ぜ と 次^じ ぞ。
寫^む ぶ 是^ぜ。 人^{ひと} 氣^き 云^い の 氣^き
澄^{じやう} なり。 其^{その} 與^よ お 衆^{しゆ} 一^{いつ} て ハ

後百下九

彼^み 行^{こう} う づ の ぞ。 相^あ 笑^{しょう}
ひ と なる 事^{こと} 多^{おほ} なる。 汝^{なんぢ} 東^{とう} 坡^ぽ
赤^{せき} 磧^{へき} と 知^し う ず ね と。 古^こ 西^{せい}
堂^{どう} と せ ぶ。 也^や 林^{りん} 中^{ちゆう} 一^{いつ} ス

坊^{らち} 氏^し 内^{ない}

見
主 御伽実なり 貝 全三冊

右ハ三十六の貝主貝ありて生々
此ガハ流々たるも賣出ル當
正月ニヨリ

彫工 佐服庄之清

宝曆六年酉子歳正月

宝暦二何目

泉金平次郎

江府玉肆

日本橋に市

美屋彦八郎

續百下十大尾

守氏

